

研究課題番号	2-1711
研究課題名	資源・エネルギーの統合利用による「低炭素型地域再構築」の計画分析モデル開発と実証
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	141,010 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	芦名 秀一

1. 評価者の指摘及び提言概要

今後の低炭素社会に向けて日本の地域がどう対応していくべきかの道筋を示した意義ある研究成果を出している。簡易型低炭素評価ツールは、地域公共団体などの利用に供することが可能なレベルであると評価できる。運輸・民生両部門の CO₂ 排出推計手法の開発とそれを用いた推計結果は大都市圏における運輸・民生双方の CO₂ 排出量が同時に小さくなることを示しており、一定の範囲で評価できる。都市部における RC 建築の方が近郊の木造建築より更新頻度が高いというデータは建築ストックの経済的評価が立地点に依存していることを示しており、興味深い。

2. 評点

総合評点：A